

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所さくら教室		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ベテラン職員のきめ細かい対応		
2	ノートを通して行う保護者との利用ごとのやり取り		
3	利用児の活動への集中力を損なわない時間設定	どれくらいの長さで どのタイミングで を お子さんの 状況に合わせて設定	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の老朽化		
2	若手職員の不足		
3	立地		

事業所名 児童発達支援事業所 さくら教室

公表日 令和7年3月29日

利用児童数 21人 回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16		1	1	・建物が古いので仕方ないと思いますが、狭い気がします。 ・ケガのリスクを取り除いた空間になっていると思います。 ・広すぎず、せますぎずで丁度良いかと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	3		1	・急に辞められてその後対処されたのかわからない。 ・十分な人数かと思えます。 ・適切なサポートお受けられていると感じています。 ・絵表示等で分かりやすくなっています。 ・家庭では整備できないような工夫が施されていると思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	2			・清潔だが建物の古さに驚いた。 ・外は遊具も年季が入っているため大丈夫かなと思うところはあります。 ・遊具が新しくなり、天候が良ければ活動も広がると思えます。ありがとうございます。 ・いつもきれいにされていると思います。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18				・我が子の特性をしっかりと理解していただいたうえでご支援いただけていると感じています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18				・日々の取組内容や進捗状況をフィードバックしていただけて分かりやすいと感じています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18				・保護者のニーズをとらえた支援計画になっていると感じます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18				・定期的に発達検査も行っていただきそれに沿った支援を考えてもらっています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18				・いつもありがとうございます。・計画に沿った内容になっていると思います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1			・細かな子どもの変化に合わせて活動内容にも変化が加えられています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	1	3	・幼児園内で支援事業をしていただいているので友達と過ごす時間も確保されています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18				・理解したうえで利用させていただいています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18				・現在の子どもの課題や伸びてきている点を分かりやすく説明していただいています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17			1	・なかなか参加することはできませんが通信を拜見させてもらっています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18				・いつも細かく子どもの様子を聞いている。 ・定期的に良いコミュニケーションが取れています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18				・保護者の悩みなど共有していただいていると思います。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	8	4	1	5	・保護者同士の交流が少なく、情報が入りにくい面があった。 ・家庭ごとに事情があり難しい面もあると思いますが、子どもが通所している親同士で個人的にやりとりした交流は図れている。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			1	・今年度から訪問支援も取り入れていただけてとても助かっている。 ・とてもすばやく対応して下さいます。
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1			・無回答1 ・ノートやお手紙を通して大事な連絡はもれなくいただいています。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15		3	・主に通信を拜見していますが、活動の内容や行事について知るきっかけになっています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1	1	・心配な点は今のところありません。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	6	・訓練の様子は分かりませんが、教養が身に付いてきていると感じられる場面が見受けられます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	7	・子ども達と安全について考える時間定期的にとっておられます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	3	・安全面の配慮は十分にされていると思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14		4	・事故は絶対にならないようにして頂きたい。 ・今のところ大きな問題はないですが、万が一に備えてしっかりとした体制ができています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17		1	・幼稚園での訪問支援になってからも順調に参加できています。 ・先生方がことが大好きで安心して通っている。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	1	・活動はとても楽しめているように感じています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18			・とても満足しています。 ・とても丁寧に見て下さっています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 さくら教室		公表日		令和7年3月29日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1		段差などがあるところもある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1		定期的に行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			関係機関の方々に助言やアドバイスをいただき、改善につとめている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		所内研修に参加している。外部研修も参加していきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1		スタッフで相談しながら偏らないように工夫している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	1			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		個別→集団を個々のお子さんにあわせて作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			毎日スタッフ同士確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		毎回振り返りを行い、共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		記録を取ったり写真を添付したりして降りかえり、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			担当者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1			
	28	(28～30は、センターのみ回答)	/	/	/	/	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	/	/	/	/	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	1			心理士、ST、OT、Drなどから頂いたいろいろな助言を生かさせてもらっている。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	2			面談が少ない 送迎時や連絡ノート、面談を行うことで共通理解を持っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4				ペアレントトレーニングを行っている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				丁寧に説明している。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4					
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				面談を丁寧に言い同意を得ている。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1			機会が少ない	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1		感染症等で実施できたこともあったが、「運動会」「りんご狩り」「クリスマス会」を行って保護者の交流の場になった。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1		さくら通信を発行している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	1		十分留意している。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			保護者さんと十分確認を取り合っている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			食べられるおやつ等、保護者に確認をとってから提供している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			スタッフ間で共有して対策している。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4				